

CEATEC JAPAN 2011 の概要と見どころ

CEATEC JAPAN 運営事務局

■はじめに

10月4日（火）から10月8日（土）までの5日間、幕張メッセ（千葉市美浜区）にて、最先端IT・エレクトロニクス総合展『CEATEC JAPAN 2011』を開催いたします。

今年のCEATEC JAPANは、わが国のIT・エレクトロニクス産業が、震災や電力問題などの困難を克服しつつ、復興を目指す日本の底力を世界へアピールするとともに、難局を越えて飛躍していくIT・エレクトロニクス業界の活力を示す絶好の機会であると考えております。

12回目の開催となる本年は『Smart Innovation - 未来をつくる最先端技術』を開催テーマとしておりますが、『IT・エレクトロニクス産業の提案する安心・安全でスマートな社会』を推進スローガンとして加え、以下に掲げるコンセプトの実現に向けた活発な展示とコンファレンスを実施していく予定であり、豊かで安心・安全なくらしと低炭素社会の実現をIT・エレクトロニクス業界がリードしていることを、広く国内外に発信してまいります。

<推進コンセプト>

- ・未来の街づくり、豊かで夢のある生活提案
- ・省エネ・節電対策の提案
- ・安全・安心のための緊急時対策の提案

■推進コンセプトの具現化施策①『CEATEC AWARD 2011』

『CEATEC AWARD』は、CEATEC JAPANに出展される数多くの製品・サービスの中から、優れた展示・発表に対し、CEATEC JAPANならではの評価指標として、関連学会との連携による技術的評価に基づく権威性と、多くの取材メディアによるマーケット視点に基づく話題性を付与した表彰を実施することにより、これらを広く国内外に発信して受賞企業に対して世界的なアピールメリットを提供するとともに、わが国の経済活性化に寄与・貢献することを目的とします。

東日本大震災が発生した本年については、震災復興と新しい日本の創造に向けた最新技術を駆使した先進的な取り組みの発信も目指してまいります。



CEATEC AWARD 2011 ロゴ

■推進コンセプトの具現化施策②『スマートコミュニティ・イノベーション 2011』

スマートコミュニティは、地域全体の電力の有効利用や再生可能エネルギーの活用により、環境への配慮と快適な暮らしを両立させる社会システムとして注目されています。

スマートコミュニティ・イノベーション 2011 では、低炭素社会の実現へ向けた IT・エレクトロニクス業界の様々な活動を紹介するほか、最新のグリーン IT 製品、ICT を活用した健康・医療機器サービス、電気自動車(EV)を含む近未来スマートハウスの実演展示などを行います。NHK/JEITA ブースでは、放送とインターネットが連携することで生みだされる多彩なサービスとして、現在提供中のコンテンツや、次世代の放送通信連携サービスである Hybridcast、人と番組を結ぶソーシャルテレビサービス teleda (テレダ) などを紹介・体験いただけます。また、震災時の情報インフラとしての放送サービスの重要性なども紹介いたします。さらに、家庭における機器、カーエレクトロニクスの節電・省エネ方法紹介や体験コーナーなどを通じてこれからのスマートライフを体感いただけます。

■推進コンセプトの具現化施策③『コンファレンス』

特別招待日の4日(火)には、日本電気株の矢野薫会長、パナソニック株の大坪文雄社長、(株)オービックビジネスコンサルタントの和田成史社長によるキーノートスピーチが行われるほか、7日(金)までの4日間、IT・エレクトロニクス業界におけるキーパーソンが「スマートコミュニティ」、「スマートネットワーク」、「スマートデバイス」の各分野について話題性の高いメッセージを世界へ向けて発信します。



キーノートスピーチの様子 (CEATEC JAPAN 2010)

■『第42回東京モーターショー2011』との連携

CEATEC JAPAN 実施協議会は、IT・エレクトロニクス産業を代表する『CEATEC JAPAN』と自動車産業を代表する『東京モーターショー』が、下記の概要で連携し、東日本大震災からの復旧・復興へのメッセージを共同で発信していくことを決定いたしました。

両展示会が連携することにより日本の基幹産業である IT・エレクトロニクス産業と自動車産業の動向を注視する国内外の産業界、市場に対し、日本のモノづくりの逞しさを発信することにつながるものと確信しております。

<メディア誘致（国内外）相互協力>

- ・連携、復興支援メッセージの発表 等
- ・相互が保有する国内外メディアリストへの取材来場誘致等の発信

<開催告知連携及び支援>

- ・両展示会の公式 WEB サイト等での開催告知（相互リンク）
- ・CEATEC JAPAN 会場内での東京モーターショーのポスター掲出、パンフレット配布 等

<来場誘致協力>

- ・両展示会の主催者会員企業の相互視察
- ・視察来場者へのインセンティブ提供（CEATEC JAPAN・VIP 専用ラウンジの利用等）

IT・エレクトロニクス産業と自動車産業の最大の展示会である CEATEC JAPAN と東京モーターショーで共有している領域は、最先端のテクノロジーとその未来を示す展示会であるということです。この両展示会を通して、今回の震災からの復旧・復興を目指す両産業の共通メッセージを発信したいとの思いで、共同メッセージ、マークを作成いたしました。

このメッセージとマークが、テクノロジーに立脚する両産業に関わるすべての人に勇気を与え、復興へ向けたシンプルで力強い旗印となることを期待しています。

復興支援共同メッセージ、マークは、両展示会の公式 Web サイト、スタッフウェア等での掲出を予定しています。

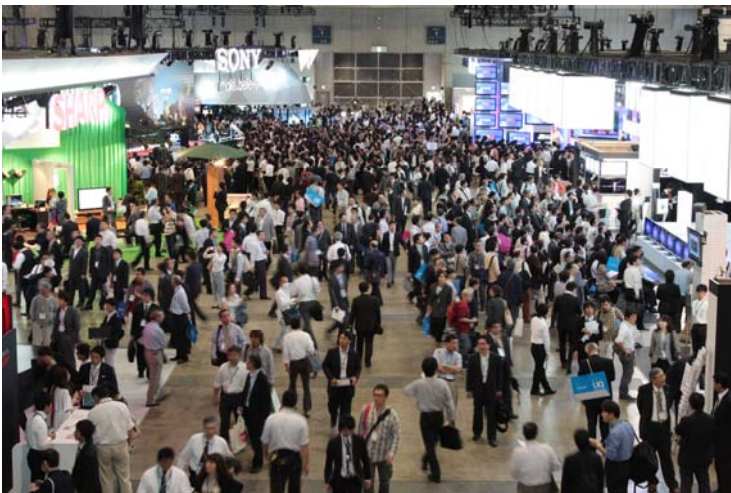


復興支援共同メッセージ、マーク

■2011 年開催規模

今回は、被災地域の自治体・企業の出展やビジネスマッチング企画をはじめ、震災後にもかかわらず多数の企業に積極的なご参加をいただき、前回同様、幕張メッセ 1～8 ホールを使用して開催します。出展者数・小間数は、8 月 4 日の報道発表時点で、403 社／団体（うち海外：16 カ国／地域から 136 社／団体）2,049 小間であり、最終的には昨年と同水準になる見通しです [2010 年最終実績：616 社／団体（うち海外：15 カ国／地域から 196 社／団体）2,255 小間]。

開催期間中の登録来場者数は、20 万人を目標としています [2010 年実績：181,417 人]。



会場風景（CEATEC JAPAN 2010）

■デジタルネットワーク・ステージ

ホーム&パーソナルゾーンでは、豊かで夢のある生活・社会を提案するデジタル家電、モバイル・パーソナル情報端末、カーエレクトロニクス、スマートハウスを構成するホームネットワーク、放送サービス、ソフトウェア・コンテンツなど、多様な技術、製品、サービスを披露いたします。

ビジネス&ソサエティゾーンでは、安心・安全なスマートネットワークを実現するキャリアサービスや、企業向けネットワークサービス、クラウドコンピューティング、スマートグリッド、各種社会システム・サービスなど、次なるビジネスへの提案をいたします。

■電子部品・デバイス&装置ステージ

最先端のものづくりを牽引する日本の電子部品・デバイス産業は、世界のイノベーションの発信基地となっています。電子部品・デバイス&装置ステージでは、省エネ、蓄エネ、創エネを支える先進的なテクノロジーをはじめとして、高密度・高集積化するエレクトロニクス機器を支える電子部品や半導体など、わが国のものづくりの根幹をなす明日の技術・製品を提案し、市場開拓へ向けた新製品の開発を促します。

■入場事前登録および公式 Website

CEATEC JAPAN 公式 Website にて入場事前登録およびコンファレンスの聴講予約を受け付けています。事前に入場登録をしていただければ、入場が無料となります。

最新情報が続々公開される CEATEC JAPAN 公式 Website の URL は下記のとおりです。

<http://www.ceatec.com>

豊かで快適な明日の暮らしと安心・安全でスマートな社会の実現を提案する『CEATEC JAPAN 2011』に、皆様のご来場をお待ちいたしております。